



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

飯田市立病院

News

NO. 83

2021.Autumn



2p ism-link10月からの新情報

3p 「かかりつけ医」をもちましょう

4p 5p ねっとわーく

くまがいクリニック
売木村国保直営診療所

一部の事務室が移転しました

6p がん相談支援センターからのお知らせ

7p 話題の広場 11月14日は世界糖尿病デー

職場紹介 リハビリテーション科

8p レントゲン博士の独り言

患者さんの声

新任医師の紹介

治部坂高原スキー場 コスモス

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

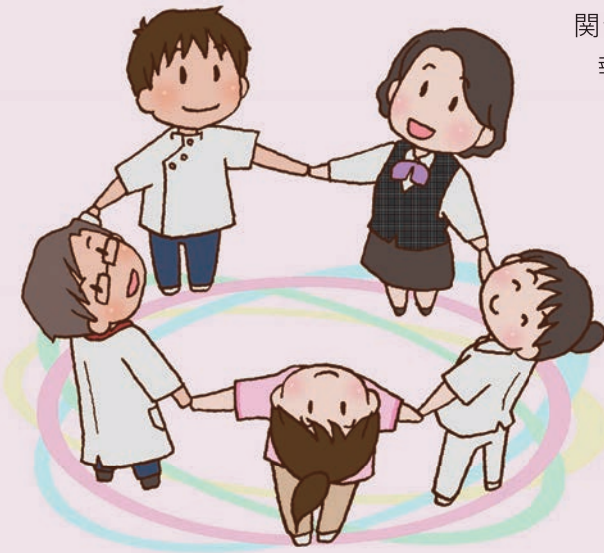
私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

イズムリンクによる 情報共有・連携を 推進しています

当院は、飯田下伊那診療情報連携システム（イズムリンク）に参加しています。医療資源に乏しく、広大な面積（香川県や大阪府とほぼ同じ面積）を有する飯伊医療圏内において、医療介護等分野における情報共有化を推進していくことは、大変重要なことであり、とりわけICTを活用した情報ネットワークについては、こうした課題解決に大きく貢献するものと考えています。

イズムリンクは、この10月より、患者さんの同意取得方法をこれまでの「個別同意」から「包括同意」に運用変更しました。これにより、今後は益々患者さんにとって、より身近な情報共有サービスになるでしょう。

当院では、地域の医療機関や介護事業者等と患者情報を安心・安全かつ迅速に共有するため、イズムリンクの利用を推進しています。今後は、より多くの患者さんにご利用の案内をさせていただきますので、ご理解とご協力を宜しく願います。



飯田下伊那診療情報連携システムに現在ご加入のみなさまへ

令和3年10月 同意取得は「個別同意」から「包括同意」へ変わります。

(様式3) ism-Link
飯田下伊那診療情報連携システム登録申込書

私は、下記の説明者から飯田下伊那医療連携システム（イズムリンク）に関する説明を受け、その目的および利用方法などを理解しましたので、イズムリンクに登録することに同意し、申し込みます。

申込年月日	令和 年 月 日
フリガナ	
患者氏名（自署）	性別 男・女
生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日
住所	〒 電話番号
代理人記載の場合 代理人氏名（自署）	職柄

【イズムリンクで相互に情報が共有されることを希望する施設名】

施設名① _____ (患者または利用者ID))

施設名② _____ (患者または利用者ID))

施設名③ _____ (患者または利用者ID))

施設名④ _____ (患者または利用者ID))

施設名⑤ _____ (患者または利用者ID))
(臨床応答者本人確認のために、各施設の「患者または利用者ID」を記載してください)

通常は上記すべての施設名をイズムリンクで継続しますが、継続を希望しない施設の欄に合わせがある場合はお知らせください。

説明施設記入欄

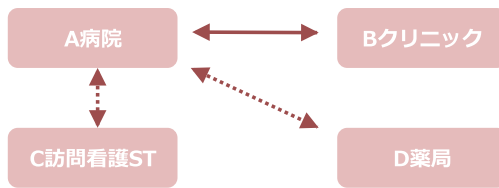
説明年月日	令和 年 月 日
説明した施設名	説明者氏名

医師以外が説明した場合、医師（主治医等）の承認が必要です。
医師が承認済みの場合チェック時

施設名の記入は必要ありません。

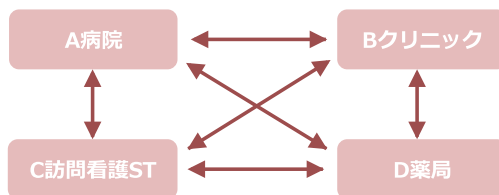
個別同意

施設を特定した情報公開・閲覧共有の同意
※情報共有する施設を変更する度に同意書の記載が必要です



包括同意

ism-Link参加施設全体で情報共有することへの同意
※初回のみ同意書への署名が必要です



※これまで同様に、同意の撤回はいつでも可能です。

◎「かかりつけ医」をもちましょう



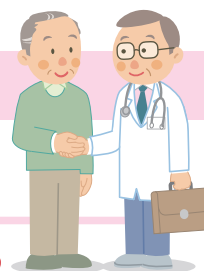
かかりつけ医とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介できる身近で頼りになる医師のことです。

国は、医療も介護・住まい・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を目指していますが、その中心的な役割を担うかかりつけ医をもつように国民の皆さんに呼び掛けています。

頼りになるかかりつけ医がいれば、具合が悪くなった時などに、すぐ相談でき早めの対策がとれます。住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、身近なところでかかりつけ医を見つけてみましょう。

◎かかりつけ医の上手な選び方

かかりつけ医は、あなたと家族の信頼できるパートナーになってくれます。以下のポイントを参考にしてかかりつけ医を選びましょう。



●近所のお医者さんにしましょう

日ごろから診てもらうには、何よりも通院しやすいことが一番です。

●きちんと説明してくれるお医者さんにしましょう

病状や診療内容についてきちんと説明してくれるお医者さんにしましょう。また、質問がしやすい、話しやすいなど、相性のよさも大切です。

●小児科や婦人科も大切です

子どもがいる場合は小児科を、女性の場合は(産)婦人科を選んでおくのも大切です。

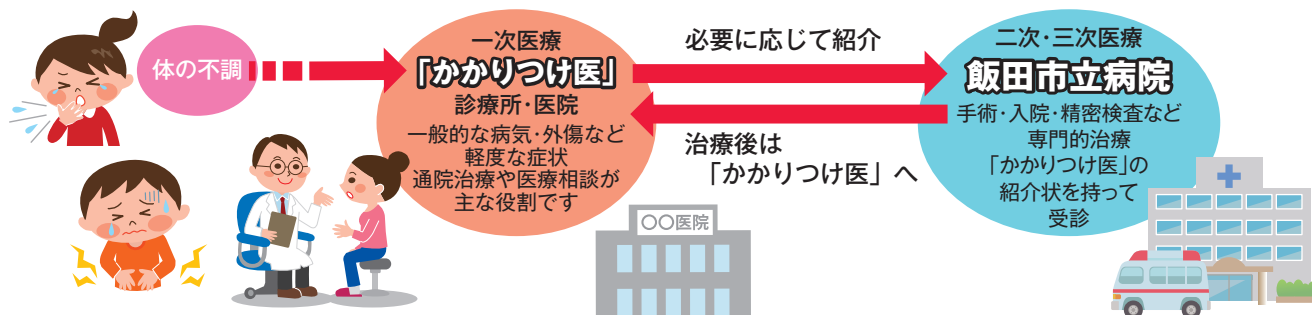
●評判の取捨選択はしっかりと

近所の人のお口コミなどは大切な情報源です。しかし、診察を受けた人の状況や相性によってお医者さんに対する印象は大きく変わります。人の意見はあくまで参考に、評判に左右されすぎないようにしましょう。

(東京法規出版「ちょっと考えて!かかりつけ医のこと」より抜粋)

◎飯田市立病院の機能・役割

当院は、救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、入院医療を中心とした医療提供体制を敷いています。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の医療機関との役割分担を一層進めて参ります。



くまがいクリニック

- 診療科目 外科・内科
- 院長 熊谷 嘉隆
- 所在地 〒395-0151 飯田市北方2428-1
- 電話番号 0265-49-0717
- 往診 可
- 駐車場 あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休	休
14:30~16:30	○	休	○	休	○	休	休	休

開院のご挨拶

今回定年退職で35年の健和会の診療を離れ、生まれ育った伊賀良・北方にクリニックを開院いたしました。健和会在職中は地域の皆様に大変お世話になりました。私が健康を頂ける間は、地域の皆さんの生活に近いところで少しでもお役に立ちたいと考え、約半年の準備を経て2021年9月1日から診療をはじめております。

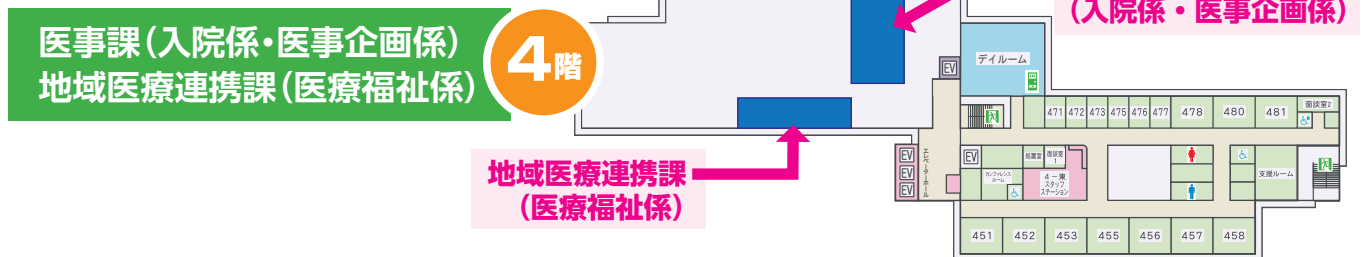
診察開始から約1か月が過ぎましたが、生活習慣病から始まり加齢による足腰の痛み、各種の外傷の飛び込み受診、往診等、診療科目を問わない訴えを持つ患者さんが来院されております。大きな医療機関には受診をためらう様々な体の悩みを持つ住民の皆さんを、身近に感ずる診療の毎日です。今後も、病診連携・医療介護の連携の中で微

力ながら役に立つことができれば幸いと思っております。何卒、よろしくお願いいたします。



熊谷院長

一部の事務室が移転しました



登録医とは…

共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

売木村国保直営診療所

- 診療科目** 内科
- 所在地** 〒399-1601 下伊那郡売木村695
- 電話番号** 0260-28-2014
- 往診** 不可
- 駐車場** あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	休	休	休	休	休	休	休

リモート診療による地域医療の充実を目指します

売木村診療所では、この4月から常勤の医師が不在となり、阿南病院からの医師派遣により診療を行っています。毎週月曜日の午前中みの診療で、平良亘先生に診察をしていただいております。10月現在の職員数は医師、看護師、医療事務員がそれぞれ1名で、たった3名という最小単位の診療所です。

今後、週1回の診療に加えて阿南病院とのリモート診療を行うため、その準備を始めたところです。具体的には、現在の紙ベースのカルテを電子カルテにします。次に阿南病院と診療所をオンラインで結びます。そうすることで、医師が阿南病院に居ながらにして患者さんを診察し、カルテを遠隔操作することができるようになります。これまでの通常診察と同様に看護師が患者対応を行い、そのデータを阿南病院にいる医師に伝える診察方法です。また、このシステムを導入すること

で、飯田下伊那診療情報連携システム（イズムリンク）と接続することが可能になります。

これからも、スタッフ一同でチーム医療を実践し、住民の皆さんのお役に立てるように日々の業務に取り組んでまいります。

売木村役場 住民課

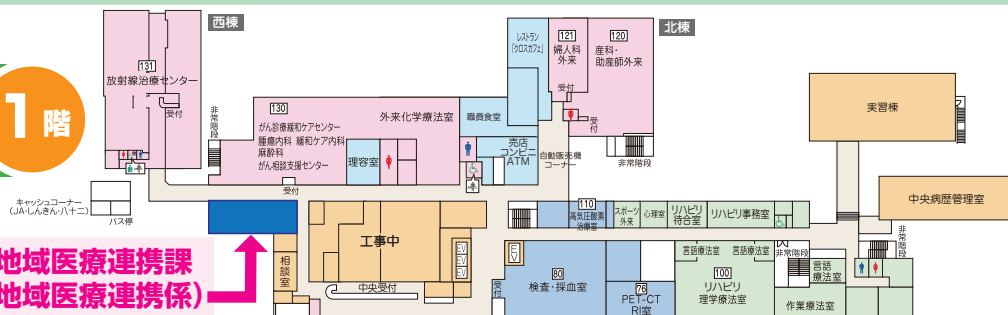


平良先生(中央)とスタッフの皆様

地域医療連携課 (地域医療連携係)

1階

地域医療連携課 (地域医療連携係)



がん相談支援センター からの お知らせ

オンライン がんサロン結 始まりました!



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、がん患者さん・ご家族様向けの「がんサロン結」は昨年3月より休止していましたが、皆様からのご要望があり、オンライン開催を開始しました。

オンライン がんサロン結とは…

がん患者さんやご家族様の交流の場やがんについての情報提供の場

- 開催日：毎月第1水曜日 15:00～16:00 (1時間程度)
- 方法：オンライン (Zoom)
- 対象：がん患者さんやご家族様 (当院を受診されていない方も可能)
- 定員：7～8名程度

※事前予約が必要です。申し込みの際は、がん相談支援センターへの電話・相談員に直接いずれかで受付しています



これまでは、当院へご来院いただいておりますが、「オンライン」は利用したことがなく、苦手な方もいらっしゃると思います。

ご参加いただく前に、使用方法のご説明をさせていただきますので、遠慮なくがん相談支援センターへご連絡ください。

今後の予定

11月10日(水)

※第一水曜日が祝日のため2週目です

12月1日(水)

● 10/6のオンラインサロンの様子

1時間のサロンの中で、15分程当院スタッフによる講座を設けています。

今回は『薬の正しい使い方』について、薬剤師から「処方された薬の内服のタイミング」「飲みにくい錠剤がある場合」「薬と食べ合わせの悪い物」等の内容について話をさせていただきました。

かかりつけ医のように、かかりつけ薬局を決めておくことで体調や体質等にも配慮したうえでの処方となるため安心です。

25

**かかりつけ薬局を
決めましょう!**

複数の病院からの薬の重複や、飲み合わせを薬剤師がチェックしてくれます。また、余ってしまった薬の整理も相談できます。



○がんサロンはオンラインでの開催が始まりましたが、患者さん同士が直接会う機会は減少しています。不安に感じていること、誰かと話をしたい時は、がん相談支援センターで話をお聞きすることができますので、お気軽にご相談ください。
相談や上記のご予約・お問い合わせは…

飯田市立病院 がん相談支援センター【受付時間】

平日 8:30～17:15

直通電話 0265-21-2010

場所 130 がん診療・緩和ケアセンター 内

当院では、世界糖尿病デーの趣旨のもとに、11月8日(月)～14日(日)にかけて、建物をブルーにライトアップします。

ちなみに世界糖尿病デーである11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日です。糖尿病治療の画期的な発見に対して敬意を表し、2006年の国連総会において公式に認定され、世界糖尿病デーとして顕彰しています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフとした「ブルーサークル」が用いられます。「ブルー」はどこまでも続く青い空を、「サークル」は団結を表す輪がデザインされ、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズのもと、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。この機会に是非、ご家族や友人と糖尿病の予防や治療について考えてみませんか。

また、糖尿病の重症化予防のためには、早期発見・早期治療が重要ですが、医療機関や健診で糖尿病と診断されたことのある約5割の方が未受診又は治療を中断するという状況です。

痛み等の自覚症状が少ないからと放置すると、合併症が進み、視力の低下、腎機能の悪化、足の神経障害が生じる等のケースもあります。

ご自身で判断されることなく、少しでも不安に感じた場合は、地域の保健師へ相談したり、かかりつけ医の受診をお願いします。



シリーズ ● 職場紹介 ● その70

【リハビリテーション科の紹介】

リハビリテーション科には、前号にて紹介いたしましたスタッフ以外にも、外来部門として歯科衛生士と視能訓練士も所属しています。

歯科衛生士は、歯科外来で行う外科処置等の診療補助業務を行っています。

最近では、「周術期等口腔機能管理」という、全身麻酔の手術前後や化学療法・放射線療法を施術される前の患者さん、現在治療中の患者さんの口腔衛生処置（歯石除去や歯面清掃）を多く行い、その他にも入院中の患者さんの口腔ケアも行っています。

視能訓練士は、主に視力・視野検査、白内障手術のための検査、お子さんの視機能回復のために斜視・弱視の訓練や検査等を行っています。

また、視力の低下に伴い日常生活に不便を感じている方へ、個々のニーズに応じてルーペ等の補助具選定を行うロビージョンケアにも携わっています。その他にも、地域内の健診への派遣にて視

力や斜視の早期発見に努めています。

歯科衛生士・視能訓練士もリハビリテーション科のスタッフとして、患者さんの診療が円滑に行えるよう笑顔で取り組んで参ります。





レントゲン博士の独り言

当院の歯科X線撮影についてご説明します。歯科X線撮影は主に2種類の撮影法、「パノラマX線撮影」と「デンタルX線撮影」があり、当院ではこの撮影法に対応するために2種類の装置を導入しています。

■パノラマX線撮影とは？

歯を含めた口腔周囲の全体像を観察します。

歯全体を1枚の画像に写すために装置が動いて撮影します。歯全体の状態や上下顎骨の状態等、広い範囲で確認することができますが、撮影に若干の時間がかかります。

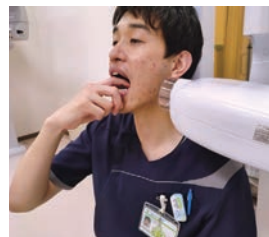
そのため、撮影中に動いてしまうと写真がブレますし、装置自体が動きながら撮影しているため、画像が若干ボケることがあります。



■デンタルX線撮影とは？

3～4本の歯を実際の形態に近い状態で観察します。

小さなフィルムを口の中に入れて撮影します。撮影時間が短く、パノラマX線撮影より詳細に観察することができますが、X線の入射方向やフィルムの位置に手技が必要になるため、撮影補助具を用いる場合があります。



この2種類の撮影法よりも、さらに詳細に歯の状態を観察する必要がある場合は、CT装置で撮影することもあります。

■CT撮影とは？

歯や顎の状態を断層像（輪切り像）で撮影することで、より詳細に観察を行うことができます。

当院ではこれら様々な撮影を用いて、患者さんの状態に応じて、正確に口腔状態を把握させていただくことで、適切な治療を提供いたします。

当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

患者さんの声



初めてのお産で不安なうえ、コロナ感染症対策のため立ち会いも面会もだめでしたが、担当してくれた助産師さんがとても落ち着いた対応をしてくれたおかげで私も落ち着いてスムーズなお産をすることができました。バースプラン通りのお産になり感謝の気持ちでいっぱいです。産後も毎日色々な方が担当してくれてみなさん親身な、優しい対応をしてくれて心強かったです。

新任医師の紹介 (令和3年10月1日)



産科

辻中 安菜

(つじなか あんな)

平成30年卒業

令和3年10月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部附属病院

あ と が き

健康診断のたびに「始めなくては！」と思いつつ、やる気のおきなかった「運動」を、今年の夏より始めてみました。冷え性の改善などあり、適度な運動は体に良いと実感しています。皆様も一緒に、今年は「運動の秋」を始めてみるのはいかがでしょうか。

編集委員 佐々木真衣子